

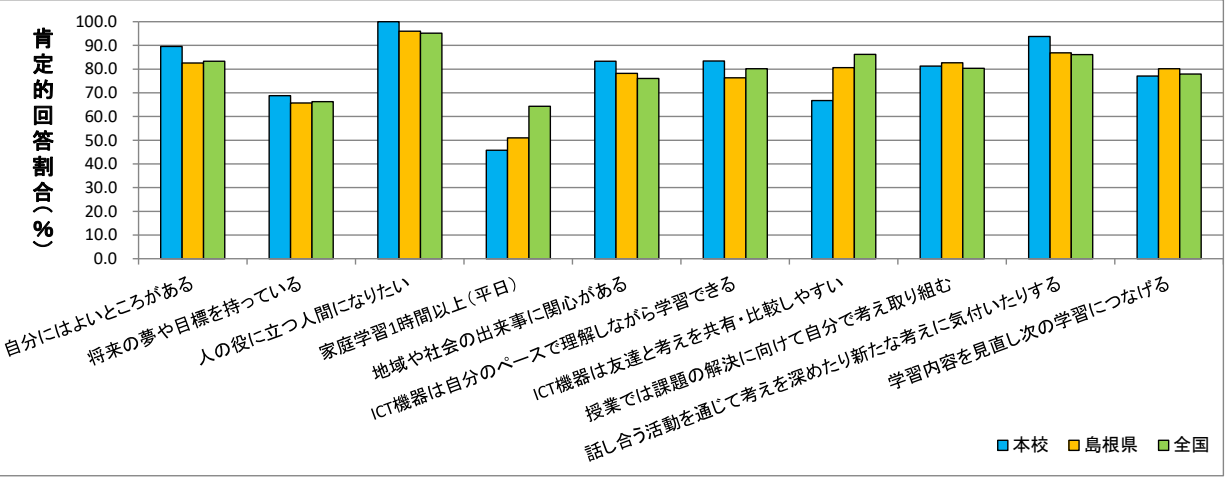
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○毎回の授業で漢字テストを行っていたので、漢字の読み書き等の基礎知識が定着している生徒が多い。 ●抽象的な言葉の知識が定着していないことから、情報どうしの関係について理解できない生徒が多い。 ●話合いの内容を捉える力に課題がある。	・抽象的な言葉の意味を調べたり、その言葉を使った作文をしたりして、抽象的な言葉の知識の定着を図る。 ・授業で話合いを行う機会を増やし、理解しながら人の発言を聞けるような教材を工夫する。
数学	○「複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較することができるか」という問いに対し、県や全国よりも正答率が高かった。 ○「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるか」という問いに対し、県や全国よりも正答率が高かった。 ●「連続する二つの偶数を文字を用いた式で表すことができるか」という問いに対し、県や全国よりも正答率が低かった。 ●「事柄が成り立つ理由を筋道立てて考え証明することができるか」という問いに対し、県や全国よりも正答率が低かった。	・基礎基本の定着はもちろんであるが、それとともに事象を数理的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する能力を養う必要がある。 ・そのために、まずは文章を読んで内容を正しく理解させること、そして何を手がかりに解決するのか明らかにさせること、さらに解決に至った理由を表現させることを授業に取り入れたい。

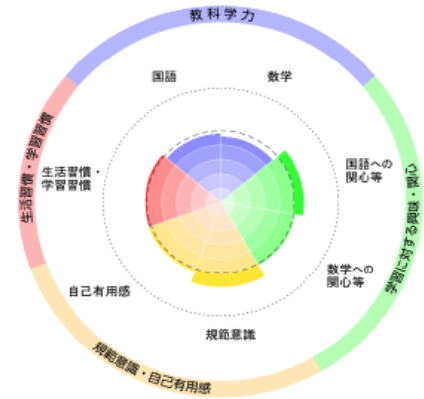
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○「自分にはよいところがある」「地域や社会の出来事に関心がある」という項目の肯定的回答の割合が多い。 ●「家庭学習1時間以上(平日)」「ICT機器は友達と考えを共有・比較しやすい」という項目の肯定的回答の割合が低い。	・主体的な家庭学習の重要性について機会をとらえ繰り返し意識づけを行う。今行っている「宿題プリント」だけでなく、効果的な宿題を増やしていく。 ・授業において友達と考えを共有・比較するために効果的なICT機器の活用方法を工夫していく。

(3)質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・校内研修や教科部会等を通して、授業改善を図っていくこと。
- ・生徒一人ひとりの思いを大切にしたい教育活動を行っていくこと。

【受検者数】
48 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。